平成２８年度夏季研修会について　報告

平成２８年８月５日（金）　本校体育館において

今年度は、愛知県総合教育センターの薬丸先生を講師にお招きして『移行支援（つなぎの支援）とその必要性について』というテーマで研修を行いました。日々成長していく児童生徒を支援する上で、就学前、小学校、中学校、高等学校、就労まで、児童生徒が少しでもスムーズに移行することができるように、移行支援について、事例を交えながらお話を聞くことができました。

後半は、参加された小・中学校の先生方から事例を頂き、グループに分かれて協議会を行いました。KJ 法を使って、分析・対応について多くの意見が出され、一つの事例について様々な角度から考える機会となりました。

小・中・高等学校の先生方もたくさん参加していただきありがとうございました。今後も、意見を交わすことのできるような内容の研修会を考えていきたいと思います。

＜今回の講演のキーポイント＞

〈支援情報を引き継ぐ必要性〉

円滑な指導、支援

- 生活上及び学習上有効であった支援方法が分かる。
- 支援に必要な関係機関を把握できる。

本人や保護者の安心

- 継続した支援や学習を行うことで、生活に見通しが持てる。
- 教師との共通理解や協力体制を築きやすい。

〈「引継ぎ」における現状と課題〉

- 「幼保小連絡会」「小中連絡会」「移行支援会議」等を実施し、支援情報の引継ぎ率は向上している。
- 就学、入学前に本人や保護者が学校見学を行い、進学先の教師と話す機会を設けている。
- 高等学校への引継ぎは、入学試験があることから慎重になることが多い。

＜参加者の声（アンケートより）＞

〈講義〉

- 引き継ぐことの重要性を実感できた。
- 各ステージで問題となる点について改めて確認できた。
- 「つなぎの支援」で個別の指導計画、支援計画の作成の重要性を改めて実感できた。

〈協議会〉

- 一つの事例についていろいろな人、視点で見ていくことの大切さを実感した。
- 様々な校種の先生方と事例検討することで、様々な視点や校種ごとの悩みや考え方を知ることができて良かった。

たくさんの御意見をありがとうございました。

『いろいろな視点で見ていく』ということで、「問題行動をしていない時」に注目して問題行動について考えていくという姿勢も忘れずに大切にしていきたいものです。一つの事柄に対してもいろいろな角度から捉え、対応を考えて指導に当たっていきたいと改めて感じることができた研修となりました。

いろいろな御意見を生かし、来年度も夏季研修会を計画していきます。また、たくさんの御参加をよろしくお願いします。